

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和4年9月1日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	名古屋港埠頭株式会社
所 在 地	名古屋市港区空見町40
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 鎌田裕司
担 当 者 連 絡 先	電 話：052-398-1081
	メー ル：jigy0@nptc.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.nptc.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要


















(1) 外貿コンテナ埠頭、フェリー埠頭等の建設、賃貸及び管理運営 (2) 外貿コンテナ埠頭、フェリー埠頭等の円滑な利用を促進するために必要な施設の建設、賃貸及び管理運営 (3) コンテナ蔵置施設等物流施設及び荷役機械等荷役施設の整備、賃貸及び管理運営 (4) 港湾振興に寄与する集荷・集客事業の企画、実施 (5) 港湾振興及び港湾施設の強化に寄与するための調査、研究 など
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	環境性能及び経済性を充足した省エネ設備の積極的な導入に取組む	【目標】 コンテナターミナル管理棟 LED 化 1 棟 (2022 年) コンテナターミナルヤード照明 LED 化 4 基 (2023 年～2026 年)
□環境 ✓社会 ✓経済	合理性・生産性向上による時間外労働時間を短縮する 社員のワークライフバランスの実現に取組む	月平均時間外労働時間 【現状】12.4 時間 【目標】11 時間 有給休暇等の取得 【現状】12.6 日／年 【目標】14 日／年

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3					8									
11	環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている							7.3						13				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている							7.2 7.3					12.4	13.3				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	特定外来種(ヒアリ等)に対しトラップの設置等定着阻止に協力している						6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	フェリーターミナル及びコンテナターミナルの関連施設において維持管理計画を策定し、定期的な点検や更新を行うなど適正な品質管理システムを構築している									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	【予定】臨海部で定期的に行われる清掃活動へ参加する				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・経営理念、経営目標を社員に周知し、共有している。 ・中期経営計画においてSDGs達成に向けた取組施策を社内で共有している								8	9								17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	反社会的勢力の排除を定めた行動指針を制定し社内で共有している 工事等発注契約においては、契約審査委員会を設置し、法令遵守の体制を構築している																16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																	16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）																	16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	リスク管理委員会を設置し、リスクマネジメントに取り組んでいる																16	
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16	
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	事業継続計画（地震・津波編、台風・高潮編、感染症編）を作成している									9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

[illegible]

令和 5 年 1 0 月 2 0 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地：	名古屋市港区港町 4 0
名 称：	名古屋港埠頭株式会社
代 表 者：	河合伸和
登録年月日：	令和 4 年 9 月 2 1 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	環境性能及び経済性を充足した省エネ設備の積極的な導入に取組む	【目標】 コンテナターミナル管理棟 LED 化 1 棟 (2022 年) コンテナターミナルヤード照明 LED 化 4 基 (2023 年～2026 年)	コンテナターミナル管理棟を LED 化 1 棟 (100%) コンテナターミナルヤード照明を順次 LED 化 1 基 (25%)
□環境 ✓社会 ✓経済	合理性・生産性向上による時間外労働時間を短縮する 社員のワークライフバランスの実現に取組む	月平均時間外労働時間 【現状】12.4 時間 【目標】11 時間 有給休暇等の取得 【現状】12.6 日／年 【目標】14 日／年	月平均時間外労働時間 【現状】12.0 時間 (指標達成に向けた取組) ・ 時間外勤務を縮減するための社内通知を実施 有給休暇等の取得 【現状】13.0 日／年 (指標達成に向けた取組) ・ 年次休暇等の取得促進を図るための社内通知を実施 ・ 年次休暇の取得状況により、取得促進の社内周知を数回実施

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地：	名古屋市港区空見 4 0 番地
名 称：	名古屋港埠頭株式会社
代 表 者：	河合 伸和
登録年月日：	令和 4 年 9 月 2 1 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	環境性能及び経済性を充足した省エネ設備の積極的な導入に取組む	【目標】 コンテナターミナル管理棟 LED 化 1 棟 (2022 年) コンテナターミナルヤード照明 LED 化 4 基 (2023 年～2026 年)	コンテナターミナル管理棟を LED 化 1 棟 (100%) コンテナターミナルヤード照明を順次 LED 化 1 基 (25%) ※今年度 1 基工事予定 (工事契約済)
□環境 ✓社会 ✓経済	合理性・生産性向上による時間外労働時間を短縮する 社員のワークライフバランスの実現に取組む	月平均時間外労働時間 【現状】 8.7 時間 【目標】 11 時間 有給休暇等の取得 【現状】 16.3 日／年 【目標】 14 日／年	月平均時間外労働時間 【現状】 8.7 時間 (指標達成に向けた取組) ・ 時間外勤務を縮減するための社内通知を実施 有給休暇等の取得 【現状】 16.3 日／年 (指標達成に向けた取組) ・ 年次休暇等の取得促進を図るための社内通知を実施 ・ 年末年始の休暇取得促進を図るための社内通知を実施

令和 7 年 10 月 7 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	名古屋市港区空見 40 番地
名称：	名古屋港埠頭株式会社
代表者：	河合 伸和
登録年月日：	令和 4 年 9 月 21 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	環境性能及び経済性を充足した省エネ設備の積極的な導入に取組む	【目標】 コンテナターミナル管理棟 LED 化 1 棟 (2022 年) コンテナターミナルヤード照明 LED 化 4 基 (2023 年～2026 年)	コンテナターミナル管理棟を LED 化 1 棟 (100%) コンテナターミナルヤード照明を順次 LED 化 2 基 (50%)
□環境 ✓社会 ✓経済	合理性・生産性向上による時間外労働時間を短縮する 社員のワークライフバランスの実現に取組む	月平均時間外労働時間 【現状】 12.3 時間 【目標】 11 時間 有給休暇等の取得 【現状】 16.4 日／年 【目標】 14 日／年	月平均時間外労働時間 【現状】 12.3 時間 (指標達成に向けた取組) ・ 時間外勤務を縮減するための社内通知を実施 有給休暇等の取得 【現状】 16.4 日／年 (指標達成に向けた取組) ・ 年次休暇等の取得促進を図るための社内通知を実施 ・ 年末年始の休暇取得促進を図るための社内通知を実施